

# 広報たかお 3月号

発行日 2026(令和8)年3月1日  
発行 高尾住民自治協議会

世帯数 130世帯 人口 236人  
(1月末現在)

高尾  
防災・減災  
訓練

できごと

## 「みんなで助かろう」

2026/2/22  
高尾 防災・減災訓練を行いました

私たちの地域は  
私たちが守る



### 『一人で避難できない人を災害時に本当に支援できるのだろうか』

そんな声が昨年の高尾地域福祉ネットワーク会議であがりました。  
過疎、人口減少、高齢化が著しく、さらに山間部の斜面に家があるため、急な坂や細い道など元気な人でも移動が大変な状況がほとんど。

「実際に避難時要支援者の方の避難訓練をしてみないとわからない」

こうした話し合いから今回の訓練内容となりました。

より現実的に行わないと課題が見えづらいとの観点から、極力事前準備は行わず現場でどのような対応ができるのか、その人、その場所、その状況により異なる対応をその場で「考える」こと、そして“振り返り”から課題を洗い出し、自分の小場においてはどうしたらよいかを考え、取り組んでいく手がかりにすることを主眼に置き、必要最低限の準備と安全対策を講じながら「ぶっつけ本番」で行いました。





▶ 新会長からは、訓練の目的と高齢化の中での共助（助け合い）の実践課題、日頃の備えの意識の向上、そして人を助けるためにはまず自分の安全を守ることが第一であり、訓練をとおして意識の向上と対応力を学んでほしいと挨拶がありました。

▶ 避難訓練後、振り返りまでの間に、市職員や社協職員の方から坂道における車いす移動の方法や毛布を活用した担架づくりなどの説明を受けました。

▶ 高尾の現状として、共助が非常に難しい状況にあります。小場によっては近所での対応ができないところもあります。今回の訓練から更に必要な訓練や対策を考えていかなくはなりません。今後は、まず小場で課題を共有し合い、「できる人が、できることを、できる範囲で」小場内での助け合いとともに一人ひとりができることを考え、行動に移していくことからはじめていきましょう。

▶ 訓練の振り返りなど詳細については、特集として今後まとめてお伝えします。

## ご協力ありがとうございました。

▶ こうした訓練ができたのも、要支援者役を快く引き受けていただいた森永さん（写真中央）、支援者役の松田さん（写真左）、友藤さん（写真右）ほか中出小場のみなさんのご協力のおかげです。

大変だったと思いますが、現実近く、学ぶことが多い避難訓練になりました。

また、伊賀市防災危機対策局、地域包括支援センター、社会福祉協議会のみなさんには、講話、ご指導、ご助言もいただき、対応力の向上につながりました。どうもありがとうございました。



森永さんが訓練に際し詠まれた歌。高尾の様子と人と人との大切なつながりが、しみじみと伝わってきます。

頼るのも  
頼られるのも  
高尾の郷は  
高尾の郷は  
持ちつ持たれつ  
高尾の郷は  
高尾の郷は  
持ちつ持たれつ

## ads. FM に出演 (2/5)



録画が  
YouTube  
で視聴できます。

防災・減災訓練に先立ち、篠木センター長が ads.FM（アドバンスコープのコミュニティ FM 局）の【みんなで学ぶ防災】命と暮らしを守る 地域の取り組み（伊賀市高尾）に出演し、2月22日の防災・減災訓練について紹介しました。

## 3月 行事予定

- 6日（金）千方伝承会 19:00～
- 7日（土）高尾いきいきサロン 13:30～  
健康福祉部会（サロン終了後）
- 8日（日）初瀬街道まつり  
己書体験教室 13:30～
- 10日（火）「ちょこっと喫茶」13:30～
- 11日（水）配食サービス
- 14日（土）教育文化部会 19:00～
- 15日（日）高尾城跡めぐり 8:45～
- 24日（火）介護予防健康体操 13:30～
- 28日（土）自治協定期例会 19:00～